

自治体病院機能再編成について

つがる西北五広域連合（五所川原市、つがる市、鱒ヶ沢町、深浦町、鶴田町、中泊町で構成）では、新たな地域医療体制の構築を目指し、自治体病院機能再編成に取り組んでいます。

これまでの経緯

平成13年3月	・ 県主導で自治体病院機能再編成計画を策定することが決定
平成14年12月	・ 県主導による西北五医療圏の自治体病院機能再編成計画を策定
平成15年4月	・ 再編後の病院・診療所の設置運営の受け皿として、つがる西北五広域連合が予定されたことに伴い職員体制を充実
平成16年3月	・ 県主導の計画に肉付けした「基本計画報告書」を外部に委託して作成
平成17年4月	・ 推進体制強化のため県職員の採用と病院関係者を中心とした「推進委員会」の発足
平成18年2月	・ これまでの検討経緯を踏まえ、計画の早期実現を図るため、県主導の計画を一部見直した「自治体病院機能再編成マスタープラン」を作成
平成18年11月	・ 中核病院建設予定地が決定（五所川原市金山地区。 後に見直し）
平成19年1月	・ 中核病院の負担割合について広域6市町長間で合意
平成19年7月	・ 広域6市町の市町長・病院長等により病院機能再編成の先進地である山形県（置賜広域病院組合及び山形県病院事業局）を調査
平成20年7月	・ 「自治体病院機能再編成マスタープラン」に掲げる病院規模等について自治体病院長会議による見直し内容を広域6市町長間で了承
平成20年9月	・ 平成18年11月に決定した中核病院建設予定地について変更（五所川原市役所隣接地） ・ 二つのサテライト病院のうち、一つを金木病院とすることについて広域6市町長間で合意
平成20年10月	・ 残るもう一つのサテライト病院について、鱒ヶ沢町立中央病院とすることについて広域6市町長間で合意
平成20年11月	・ サテライト医療機関の負担割合について広域6市町長間で合意
平成21年3月	・ 平成17年度に策定したマスタープランを改訂し、「マスタープラン改訂版」を公表
平成21年5月	・ 第1回中核病院基本設計者審査委員会開催 プロポーザルの手続き開始の公告について審議
平成21年6月	・ 第2回中核病院基本設計者審査委員会開催 技術提案書の提出を依頼する業者の絞り込み（10社 5社）

平成21年7月	<ul style="list-style-type: none"> ・第3回中核病院基本設計者審査委員会開催 最優秀者及び優秀者の特定（5社 1位、2位） ・県に対し地域医療再生計画に係る西北五圏域の提案書を提出 ・地域医療を考えるシンポジウム（主催：西北五地域医療を考える会、会場：つがる市）に参加し、自治体病院機能再編成について説明 ・地域医療再生計画案の対象圏域選定に係る県の委員会に対し、西北五圏域の提案をプレゼンテーション ・本県の地域医療再生計画案の対象圏域2ヶ所のうち1ヶ所に西北五圏域が決定
平成21年9月	<ul style="list-style-type: none"> ・(株)横河建築設計事務所と中核病院基本設計委託業務契約締結 ・県知事への陳情（地域医療再生計画の実現に関する要望）
平成21年10月	<ul style="list-style-type: none"> ・県選出国会議員への陳情（地域医療再生計画の実現に関する要望）
平成21年10月	<ul style="list-style-type: none"> ・西北五の地域医療を考える懇談会（主催：青森県保健医協会、会場：五所川原市）に出席し、自治体病院機能再編成について説明
平成21年11月	<ul style="list-style-type: none"> ・県が国に対し、地域医療再生計画案を提出 ・民主党県連、自民党県連への陳情（地域医療体制の確保に係る国の支援に関する要望） ・西北五地域医療フォーラム（主催：西北五地域医療研究会、会場：五所川原市）において、中核病院基本設計のたたき台について住民に説明
平成22年5月	<ul style="list-style-type: none"> ・「中核病院基本設計に係る職員説明会」について、西北五圏域自治体病院職員等を対象に説明会を開催 ・「つがる西北五広域連合中核病院（仮称）基本設計概要」をホームページ等に公表 ・(株)横河建築設計事務所と中核病院実施設計業務委託契約締結
平成22年8月	<ul style="list-style-type: none"> ・「つがる西北五地域医療連携検討委員会」の設置
平成22年10月	<ul style="list-style-type: none"> ・民主党県連、自民党県連への陳情（地域医療再生計画の推進に関する要望） ・県選出国会議員への陳情（地域医療再生計画の推進に関する要望） ・弘前大学と寄附講座「地域医療学講座（つがる西北五広域連合）」に関する協定書を締結（11月1日講座開設）
平成22年12月	<ul style="list-style-type: none"> ・「自治体病院機能再編成計画に係る職員説明会」について、西北五圏域自治体病院職員等を対象に説明会を開催 ・「つがる西北五広域連合中核病院（仮称）に係る住民説明会」について、住民を対象に説明会を開催
平成23年1月	<ul style="list-style-type: none"> ・広域連合が県へ「平成22年度地域医療再生臨時特例交付金」の意見書を提出（臨床研修医等宿舎及び病院託児施設等を要望）
平成23年2月	<ul style="list-style-type: none"> ・県知事への陳情（財政支援）

- ・県知事が広域連合へ「平成23年度から平成25年度までの3年間で計25億円を上限に支援する」ことを発表
 - ・「5病院の広域連合立化の説明会」について、職員組合を対象に説明会を開催
 - ・つがる西北五広域連合正副連合長会議において、中核病院の名称については、「つがる総合病院」と決定
連合立化の時期については、「平成24年4月1日に5自治体病院すべての病院の運営を一斉に広域連合に移管する」とことと決定
広域連合職員への併任について、「各自治体・病院の関係職員を併任する」とことと決定
- 平成23年4月
- ・独立行政法人国立病院機構 長崎医療センター 情報管理運営部長、内分泌・代謝内科医長 木村博典氏を講師に招き、西北五地域自治体病院機能再編成に伴うITを活用した地域医療連携の講演会を開催（対象者：西北五圏域における医療関係者（介護分野含む））
- 平成23年6月
- ・「つがる総合病院実施設計概要版」をホームページ等に公表
 - ・「自治体病院機能再編成に係る職員説明会」について、西北五圏域自治体病院職員等を対象に説明会を開催
- 平成23年8月
- ・つがる総合病院建設工事契約締結については、以下のとおり各工事ごとに契約締結
建設工事・・・鹿島建設(株)東北支店
強電設備工事・・・(株)きんでん東北支社
弱電設備工事・・・(株)応電社
空調設備工事・・・新日本空調(株)東北支店
給排水衛生設備工事・・・(株)朝日工業社東北支店
 - ・(株)鳳建築設計事務所と(仮称)鶴田診療所建設設計業務委託契約締結
- 平成23年9月
- ・9月1日付けで、地方公営企業法の全部適用
 - ・病院事業管理者に棟方昭博氏が就任
 - ・つがる総合病院建設工事安全祈願祭の開催
 - ・「つがる総合病院建設工事に関する地元説明会」について、近隣住民を対象に説明会を開催
- 平成23年10月
- ・県選出国會議員、民主党県連、自民党県連への陳情（地域医療再生計画の推進に係る要望）
- 平成23年11月
- ・(株)横河建築設計事務所と立体駐車場建設設計業務委託契約締結
 - ・本県の地域医療再生計画（三次医療圏）に、広域連合が要望していた「臨床研修医等宿舎及び病院託児施設整備事業」の採択が決定
- 平成23年12月
- ・「つがる総合病院建設工事現場視察研修会」について、西北五圏域

- 構成市町技術職員を対象に研修会を開催
- 平成24年2月
- ・アール・エー・ビー開発(株)と(仮称)つがる診療所建設設計業務委託締結
- 平成24年3月
- ・「連合立化に係る職員説明会」について、西北五圏域自治体病院職員等を対象に説明会を開催
- 平成24年4月
- ・西北五圏域自治体病院の経営統合(広域連合による一体運営)
 - ・西北中央病院及びかなぎ病院ではオーダリングシステム、鱒ヶ沢病院では電子カルテシステム(更新)が稼働

自治体病院機能再編成の目的・必要性

医療機能の高度化によりサービスの充実を図ります。

現在、五所川原市立西北中央病院が当医療圏の高度医療を担っていますが、医師不足や施設の老朽化など、思うような医療機能の高度化が図れない状況です。このことから、自治体病院機能再編成を進め、当医療圏全体の医療提供サービスを充実させるために新たに中核病院の整備が必要です。

医師不足の現状とその解消に向けて。

医師不足が著しい中で、現在のように、少数の医師が多くの病院に分散して配置されている状況は、医師にとっては診療への不安、多忙、ひいては勤務条件への不満などを招き、病院現場から医師が去ってしまう状況を引き起こしてしまいます。

地域医療の充実を図るためには、まず医師が働き甲斐をもって活躍してもらえる環境を整えることが必要であり、中核病院を早期に整備しサテライト医療機関とのしっかりとした連携システムを構築することが大事と考えます。その手段として自治体病院機能再編成を進めているのです。

地域の医師数の状況(平成20年12月31日現在、厚生労働省調査データをもとに作成)

【医療施設従事医師数】

(人)

地 域	医師数(実数)
1 津軽地域	8 2 7
2 青森地域	5 8 9
3 八戸地域	5 4 7
4 上十三地域	2 1 4
5 西北五地域	1 4 2
6 下北地域	1 0 9
青森県	2 , 4 2 8
全 国	2 7 1 , 8 9 7

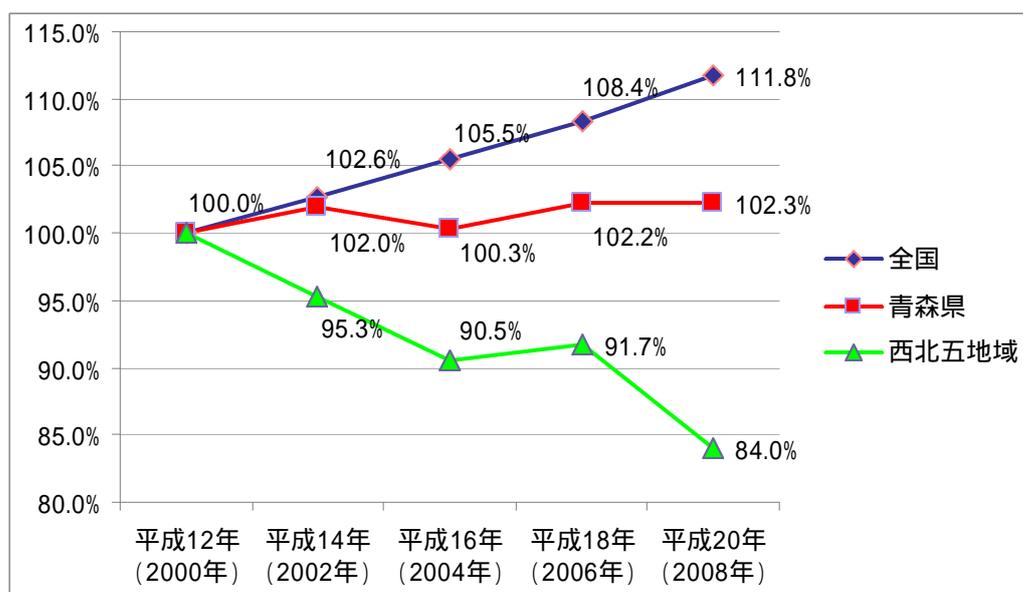
【人口10万対医療施設従事医師数】

(人)

地 域	10万対医師数
1 津軽地域	2 6 7 . 8
2 青森地域	1 7 7 . 9
3 八戸地域	1 6 0 . 9
4 下北地域	1 3 5 . 7
5 上十三地域	1 1 4 . 8
6 西北五地域	9 5 . 7
青森県	1 7 4 . 9
全 国	2 1 2 . 9

* 西北五地域の人口10万人あたりの医師数は全国の半分以下となっています。

平成12年度(2000年度)の医療施設従事医師数を100とした場合の医師数の推移
(厚生労働省調査データをもとに作成)



* 医療

の細分化・専門化が進み、以前よりも医師の数が必要になっています。

全国では毎年医師数が増加していますが、西北五地域は減少傾向にあります。

400床以上の病院の医師数の状況 (平成22年5月現在のデータをもとに作成)

病院の区分	病院名	常勤医師数の平均
600床以上の病院	・弘前大学医学部附属病院(津軽地域) ・県立中央病院(青森地域)	240.0人
500 - 599床の病院	・八戸市立市民病院(八戸地域) ・青森市民病院(青森地域)	101.5人
400 - 499床の病院	・むつ総合病院(下北地域) ・西北中央病院(西北五地域)	49.0人

病院名	病床数	常勤医師数
西北中央病院	412床	33.0人

西北中央病院の常勤医師は400床以上の6病院の中でも最も少ない。

少ない医師数で西北五地域の中核医療を支えている現状にあります。

持続可能な医療サービスの提供体制を構築します。

健全な病院経営は、地域医療の充実を図る上で欠かせません。しかし、当医療圏では各病院とも少ない医師で赤字経営を続けています。今後、地方財政が厳しくなる中で、一般会計の支えも大変です。

自治体病院機能再編成は、個々ばらばらに経営している自治体病院を、つがる西北五広域連合による一体運営体制のもとで、人、もの、金を効率よく活用していきます。

病院再編成による医療機能と規模の概要

病院再編成について、広域6市町長間で合意した基本的な内容は次のとおりです。

つがる総合病院について

医療機能について

圏域の高度救急と急性期医療を担う中核病院を目指す。

診療科について

消化器内科・血液内科・膠原病内科、循環器内科・呼吸器内科・腎臓内科、内分泌内科・糖尿病代謝内科・感染症科、心臓血管外科・呼吸器外科、消化器外科・乳腺外科・甲状腺外科・小児外科、小児科、精神科、整形外科、リウマチ科、脳神経外科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、皮膚科、泌尿器科、形成外科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科、健康管理科

* これらの診療科は、それぞれを専門とする医師が揃ってはじめて可能となるものであり、設置できるように医師の確保に努めていきます。

規模について

- 1) 434床で計画（一般390床（救急病床10床含む）、精神40床、感染症4床）
- 2) 外来患者は1日当たり1,065人程度を想定。

医師数の見込みについて

44.6名 - 充足率93%

建設費の概算額について

- 1) 事業費総額 171億円余りと試算

内 訳	建設関係	約118億円（設計、本体建設工事、外構工事等）
	設備関係等	約52億円（医療機器、情報システム等）
	その他	約1億円（移転引越等）

- 2) 地方債償還費

病院事業債、一般会計出資債及び過疎対策事業債を組み合わせ活用し、償還のピーク（全起債の合計額）は開院5年目で約11億2千万円、それ以降は平年ベースで約5億2千万円と試算しています。

サテライト病院（金木病院、鱒ヶ沢病院）について

医療機能について

急性期治療後の入院医療と地域住民に対する初期医療を提供する。

（主な特色）

< 金木病院 >

回復期リハビリテーション機能

< 鱒ヶ沢病院 >

へき地医療拠点病院

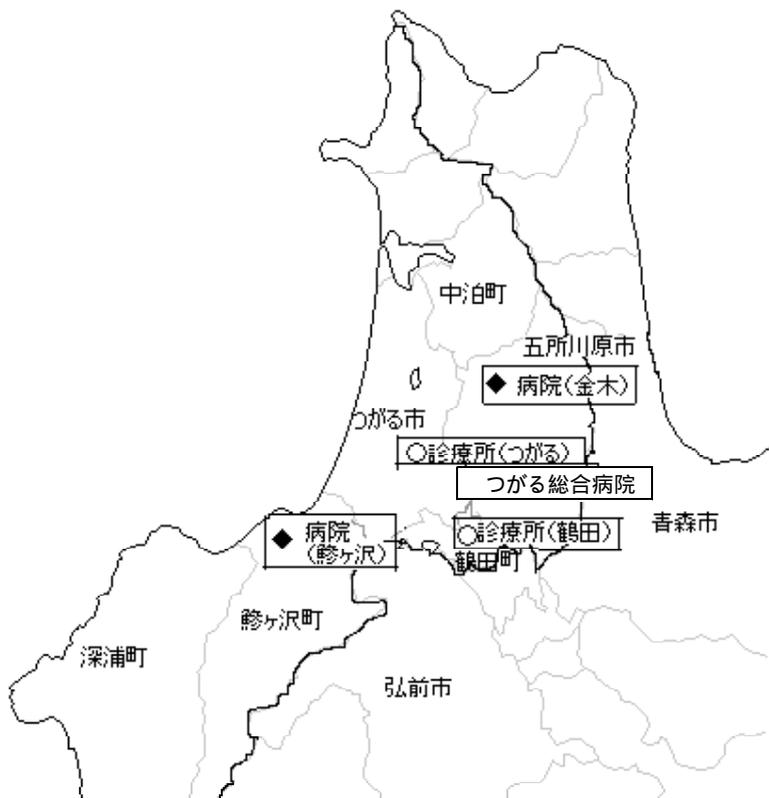
診療科について

< 金木病院 >

- 内科、外科、小児科、整形外科、婦人科、眼科、皮膚科、リハビリテーション科
- < 鱒ヶ沢病院 >
 内科、外科、小児科、整形外科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科
 規模について
- < 金木病院 >
 1)100床で計画（一般100床、うち回復期リハ40床）
 2)外来患者は1日当たり256人程度を想定。
- < 鱒ヶ沢病院 >
 1)100床で計画（一般100床）
 2)外来患者は1日当たり378人程度を想定。
 医師数の見込みについて
- < 金木病院 >
 8.6名 - 充足率75%
- < 鱒ヶ沢病院 >
 10.6名 - 充足率75%
 改修費用について
- < 金木病院、鱒ヶ沢病院 >
 今後具体的に改修内容を検討のうえ決定となります。

- サテライト診療所（つがる診療所・鶴田診療所）について
- 医療機能について
 地域住民に対する初期医療（かかりつけ医）を提供する。
- 診療科について
- < つがる診療所・鶴田診療所 >
 内科、外科
 規模について
- < つがる診療所・鶴田診療所 >
 1)入院病棟なし（無床診療所）
 2)外来患者はそれぞれ1日当たり96人程度を想定。
 医師数の見込みについて
- < つがる診療所・鶴田診療所 >
 各1人（常勤医）
 建設費の概算額について
- < つがる診療所 >
 今後具体的に新築の内容を検討のうえ決定となります。
- < つがる診療所 >
 事業費総額 約4億7千万円と試算
 内 訳 建設関係 約2億9千万円（設計、本体建設工事等）
 設備関係等 約1億8千万円（医療機器、情報システム等）

医療機関の位置



つがる総合病院の建設用地の選定

つがる総合病院の建設用地は、平成18年11月に2市4町長による会議により「青森テクノポリスハイテク工業団地漆川」内の1区画とすることで一度決定しました。

「広い敷地面積を有すること」とする建設用地の要件に基づき、郊外の3カ所の候補地の中から選ばれたものですが、平成20年度における計画規模の見直し縮小もあり、建設用地は医療機能を担うことができれば必ずしも敷地面積の広さに拘らないこととし、候補地に五所川原市中心市街地も加え、再度協議することとしました。

これらの4カ所の候補地の中から、改めて2市4町長による会議を経て、公共交通機能の充実など利用者の利便性や総事業費を圧縮できることなどを踏まえ、平成20年9月24日に建設用地を以下のとおり見直しました。

< 決定した建設用地 >

五所川原市役所隣接地

(住所：五所川原市岩木町12-3他) 面積約1.3ヘクタール

つがる総合病院等の整備スケジュール

今後、想定されるスケジュールは以下のとおりです。

平成22年度 ～ 23年度	つがる総合病院の実施設業務委託 各自治体病院の広域連合への経営移管・職員の身分移管 に向けた規程の整備、サテライト医療機関の改修等計画 の検討
平成23年度 ～ 25年度	つがる総合病院の建設、開設許可手続きの開始、職員の 教育・研修 各病院の機能転換に伴う改修等 臨床研修医等宿舎及び病院託児施設の整備 立体駐車場の建設
平成25年度末	つがる総合病院の開院、各病院の機能転換等

最後に

自治体病院の機能再編成は圏域の住民の皆様の命と健康を守るために必要です。

昨今の医師不足や病院の経営状況を踏まえると、現在の各自治体病院の機能を維持していくことは難しく、近い将来、病院の診療所化が進むことや、現在受けられる高度医療も弘前や青森まで足を運ばなければならないものが増えるなど、ますます不便で、かつ地域の安全にも支障を来すおそれがあります。

自治体病院の機能再編成は、西北五圏域の全自治体が一つにまとまって圏域の医療を守るために取り組もうというものであり、診療所に転換となる病院もありますが、代わりに中核病院で受けられる医療の質の向上が期待でき、何よりも地域全体の医療過疎化を防ぐことに繋がります。

これからの事業の推進に当たり皆様のご理解とご協力をよろしく申し上げます。

問合せ先 つがる西北五広域連合 病院運営部
TEL:0173-26-6363、FAX:0173-26-6366
〒037-0053 五所川原市字布屋町4 1番地
旧高等看護学院 2階